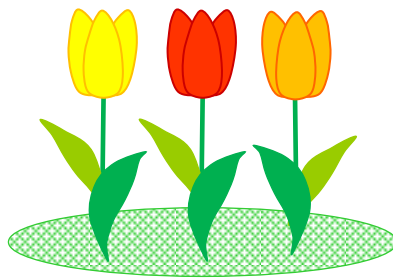

PTAをのぞいてみよう！

—2019 年度版—



PTA 活動は敷居が高いと思われがちですが、
その一因として、具体的な活動内容が知られていないことが挙げられます。

活動の一端を発信することで PTA 活動の支援に繋がたいという考えから、
町田市公立小学校 PTA 連絡協議会にご協力いただき、
活動紹介を充実させた「PTA をのぞいてみよう！」を作成しました。

－ 目 次 －

1. PTAの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1) PTAとは？	
(2) PTAの位置づけ	
2. 活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(1) PTAって何するの？	
(2) 活動紹介	
・町田第一小学校	
・町田第三小学校	
・小山小学校	
・南第一小学校	
・南第三小学校	
・鶴川第一小学校	
・ゆくのき学園大戸小学校	
・南第二小学校	
・南第四小学校	
・匿名校	
3. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
(1) 配慮が必要なこと	
(2) PTA 連合組織とは	

修正履歴

- ・2020年3月17日：(P9) 南第二小学校の活動紹介を追加
- ・2020年6月30日：(P9) 南第四小学校の活動紹介を追加
- ・2020年12月18日：(P11)「会員と非会員について」を修正

1. P T Aの概要

(1) PTAとは？

⇒子どもたちの育つ環境をより良くする団体です

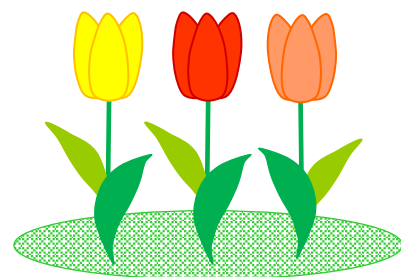
P T Aとは、Parent（保護者）－Teacher（教職員）－Association（連合）の各語の頭文字をとったものです。

P T Aは、女性にまだ参政権がなかった1897年、フィービー・アパーソン・ハースト婦人とアリス・マクレラン・バーニー婦人がワシントンD.Cにて「全米母親議会」を開いたのが始まりです。バーニー婦人は、この世に新しく生まれる子どもたちのために、幸せなよりよい境遇の新しい世界を作ること考えました。活動には父親や教師、政治家を含めた多くの人たちが賛同したことから、「全米保護者教師議会」と名称を改め、後に「全米P T A団体」へと発展しました。

日本においては、戦後、連合国最高司令部（GHQ）がP T Aの組織を勧奨したことから、文部省（現文部科学省）が「教師と父母の会－教育民主化への手引き」を作成し、各都道府県教育委員会へ配布したのをきっかけとし、1950年には全国ほとんどの小・中・高等学校でP T Aが組織されました。

P T Aの本質は、学校に通うすべての子どもたちが豊かな学校生活や地域生活を送れるよう支えていくというものです。保護者と教職員によって学校に組織され、会員の総意に基づき自主的・民主的に運営されます。

主体性に基づいた団体のため加入は任意で、会員になれば誰もが自分の意志で活動に参加できます。子どもたちの健やかな成長を願い、話し合いながら楽しく活動することで、保護者も育ち合うことを目標にしています。



（２）ＰＴＡの位置づけ

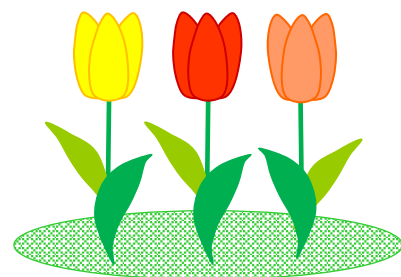
⇒学校から独立した存在です

それぞれの学校のＰＴＡ（単位ＰＴＡ、略称：単Ｐ）は、青少年団体や婦人団体などと同じく、「社会教育関係団体」と位置付けられています。社会教育とは、学校教育以外の教育を指し、多様な人々により多様な場や、さまざまな機会でおこなわれている教育です。

「社会教育関係団体」は、公の支配に属さない団体として法律に定められているため、単位ＰＴＡも学校とは別の独立した組織で、個々の規約（会則）を持ち、ほかの団体や機関から統制や干渉を受けません。

しかし、子どもたちが学校という舞台で一人ひとり輝けるよう、環境を充実させ、日々成長を見守るという想いは、ＰＴＡも学校も同じです。互いに連絡をとりあって連携を図り、相談をしながら、子どもたちの育つ環境をよりよいものにしていきます。

学校とＰＴＡは、相互に自主性を尊重し合いながら連携していくことが大切です。



2. 活動

(1) PTAって何するの？

⇒子どもたちが学校や地域全体でより豊かに育つよう、環境を充実させます

学校が内外での活動を単独で行うとなると大変なため、PTA が学校や地域との連絡窓口となり、連絡を取り合い、情報を共有して連携を図ることで、スムーズに子どもたちのための活動がおこなえます。

学校ごとにさまざまな活動がありますが、大きく3つの目的に分けられます。

活動①：子どもたちのための活動

＜例＞子どもの交通安全を見守る「旗振り」、運動会など各種学校行事の支援

活動②：学校、家庭、地域の架け橋

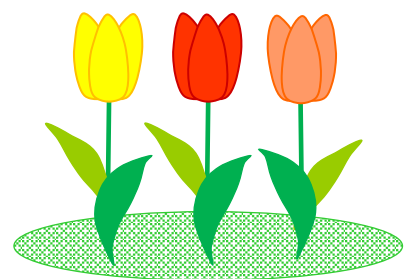
＜例＞夏祭りやレクリエーション大会の実施、
地域の遊び場で安心して遊べるよう放課後パトロールを実施

活動③：保護者のための活動

＜例＞父母を対象とした勉強会の開催、
学校新聞やPTAだよりなどの製作・配布による情報発信

活動にあたっては、学校でどのような教育活動が行われているか、教職員と保護者間で連絡し、情報交換をすることが大切です。学校の活動をサポートし、課題があれば会員同士で解決策を練り、場合によっては学校側に改善策を提案します。

なお、学校という公の場で活動するため、特定の政党や宗教を支持したり、営利行為に利用したりするなど、政治、宗教、営利を目的とした活動は禁止されています。



(2) 活動紹介

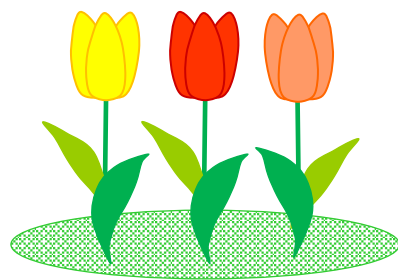
⇒単位 PTA は個々の規約（会則）を持っているため、活動内容は多種多様です。
「町田市公立小学校 P T A 連絡協議会」加盟校にご協力いただき、活動に関するアンケートを実施しました！

アンケート内容

- ①PTA 理念、活動にあたって大切にしていること
- ②活動する上で工夫していること
(多くの人が参加できる工夫、活動効率化の工夫 etc.)
- ③力を入れている活動

～「役員さんの声」編～

- ①PTA 活動をするにあたって、自分で工夫したこと
- ②PTA 活動をしていて良かったこと
- ③子どもとの関わりで変化があった点
- ④日々活動の中で感じること



町田第一小学校

PTA理念：子どもの”笑顔のため”を柱とし、時代に合った活動を心がける

活動をする上で工夫していること

- ①それぞれが手分けして活動を担う
- ②活動に関するやりとりはメールで
- ③単年交代のため、マニュアルの作成を重視

力を入れている活動

- ・学区外の子どもセンターと連携したサークル活動
- ・お父さんが主体となって、子どもたちと遊ぶ機会を作っています。

子どもと保護者、どちらにとっても
魅力のある活動となっています！

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「知り合いが増えたこと。」
- ・「学校内の子ども様子が分かるように。」
- ・「PTA活動に興味をもてたこと。」

子どもとの関わりで変化があったことは？

- ・「自分の友達に認知された。」
- ・「子どももPTAに興味を持ち始めています。」

工夫したことは？

- ・「通信を読んでもらえるように、見やすく作成しました。」
- ・「メールを一本化し、役員で情報を共有しています。」
- ・「LINEを活用しています。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「思っていたほど敷居は高くありませんでした。」
- ・「子どもたちのために親も学校に協力して、みんなで活動する気持ちがあると感じます。」

町田第三小学校

PTA理念：何よりも子どもたちのためになる活動と保護者先生地域の方のために

活動をする上で工夫していること

- ①係の仕事をつわりやすく説明し、仕事量を少なくする
- ②子どもと参加できる様に工夫する

過度な負担にならないよう、「出来る人ができるときに」
を合言葉に、出来るだけ多くの保護者に参加してもらい、
役員や係を担ってもらえるよう日々活動中です！

今年の標語・テーマカラー
「One for All, All for One」
ブルー・フラック

力を入れている活動

- ①敷地内にある梅(町田第三小の校章)の実で作った加工品を地域へ配布
- ②青少年健全育成地区委員会の行事
- ③校庭で行われる盆踊りを担うことで、物販利益で子どもたちのための備品を購入
- ④地域貢献として保護者地域の方とおこなっている読み聞かせ・ペープサート
(学校の生徒、地域の保育園幼稚園などへ出前公演を実施)
- ⑤次年度に向け体育着・上履きなどの学校用品リサイクル販売準備
- ⑥PTA改革 ☆

PTA改革に力を入れています！

分かりやすい運営システムの構築

PTAって、噂とか伝言で代々引き継がれているものが結構あります。その「暗黙の了解」を無くし、活動を円滑に引き継いでいけるよう、文書に起こしておくことで誰でも担えるシステムをつくりあげています。

時代に合わせたPTAづくり

「母は専業主婦が当たり前」の時代に出来たPTAは、今の社会とはかけ離れている場合も多く、とくに本部役員などは、ワーキングママでは抱えられないような仕事量があります。町田第三小では、できるかぎり仕事量を分散化し、みんなに少しずつ担ってもらう事で、ワーキングママでも介護中のママでも、誰もが活動に参加できるようにしています。子どもをこの学校に通わせる保護者として、「お客さん」ではなく「当事者」として負担なく関われるよう、時代と個々のニーズに合わせ、色々なパターンの役割を作っています。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校の様子がよくわかる」「先生方と色々な話ができる」
- ・「子どものためになっていると感じられる」

「任意団体として子どもの数が増える中、活動資金をどう確保していくか？」
など、課題もあります

工夫したことは？

- ・「役員会のたのしい雰囲気づくり」
- ・「役員同士の情報共有」
- ・「子どもと参加できるPTA活動」

日々活動の中で感じることは？

- ・「行政の支援、協力、理解がもっとあると良い」
- ・「PTAはなくてはならないものだけど、役員はやりたくないと感じている保護者が多い。もっと気軽に楽しく関わりを持ってもらうにはどうしたらいいのか」

小山小学校

PTA理念：保護者と教員が学びあうことで教養を高め、成果を
家庭・学校・地域に還元し、子どもたちの健全な発達に寄与すること

活動をする上で工夫していること

【多くの人が参加出来る工夫】

- ①委員会における活動回数を減らし、ポイント基準を緩和
- ②役員、三役についての免除内容の見直し
- ③子どもに直結したお手伝いや、子どもと一緒に参加出来る活動を増やす
(スクールサポート係、開放プール、地域のお祭り、自転車点検など)
- ④期間は決めるが日時は指定せず、出来る時に行える活動を導入

【活動効率化の工夫】

- ①任期を2年にする(PTA本部活動への理解を深めてもらう・引継ぎの効率化)
- ②本部役員の増員
- ③HP活用
- ④LINE、情報共有ツール(カレンダー、データなど)の活用
- ⑤各役職に責任が偏らないように、全員で配布の確認や情報を共有する

PTAも「その時代にあった活動」としていくために、効率化や改善が必要なのはアップグレードしていく必要があると考えています

「何よりも一番は子ども達のための活動を」

子ども達の健全な成長を図るためには、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら連携し合う事が大切です。

特に、学校と保護者の代表であるPTA役員が一致した教育を進める協力体制は、地域社会における子どもたちへの教育についても重要な役割を果たします。

そのため、学校と家庭、さらには、地域社会を結び架け橋としてのPTAが、本来の目的を果たすにはどのような活動が良いか、且つ、どのような組織が『これからの時代にあったPTA』として必要とされているかを考える(その意識を持つ)ことを、日々の活動にあたって常に大切にしています。

力を入れている活動 ～家庭、学校、社会における児童の福祉を増進するため、今後特に力を入れていきたい4つの活動～

- ①学校へのお手伝い～学校と保護者の関わりを深める～
教職員の負担軽減への支援を行い、学校の教育的環境の整備や充実化を図る
- ②子どもたちへの支援～子どもたちと共に～
PTA主催のイベントや検定試験など、子ども達を支援するとともに『挑戦する意欲』を育むためのお手伝い
- ③子ども達の安全を見守る～安心、安全な生活環境を守る～
学校内だけでなく、学校外における日常の子どもたちの安心・安全を守る活動
- ④地域社会との交流を図る～地域との関わりを深める～
地域行事のお手伝いのほか、青少年健全育成委員会やONWネットワーク協議会へ参加し、情報交換をします。
近隣の学校やPTA、市議会、町内会や子ども会などの代表者が集まって、イベントの相談や子どもたちの問題について考えています。

地域イベントのお手伝いはあくまで「連携の手段」です。市や地域団体と顔合わせをしておくことで、子どもたちに何かあった場合や災害時などに、よりスムーズに対応できると考えられるため、地域との良好な関係作りにも力を入れてきました。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校へ行く回数が増えることで、学校の日常風景を見ることができ、子どもが普段どのような環境で学び、過ごしているかを知ることができた。」
- ・「学校や地域の方が子どもの名前を覚えて下さり、改めて、学校、保護者、地域の方々に見守られ、支えられていることを実感できた。」
- ・「PTA活動を通して、たくさんの知り合いが増え、人脈が広がった。」
- ・「普段見れない親を子どもが見たり感じたりでき、親子関係に良い影響を与えてくれた。」

工夫したことは？

- ・「できる人ができる時に、できることをする。
助け合いの気持ちを大切に、仲間が困っていたら手助けする。」
- ・「期日を守る。」
- ・「コミュニケーションをとる。」
- ・「役割分担を見直し、活動のしやすさ、作業の効率化を図る。」

「PTA会長」として工夫したこと！

- ①各専門委員会の活動にできる限り関わる
「委員会に出席し、三役との話し合いの場を増やし、また、活動の為に来校されている保護者の方には積極的に声をかけ、直接、保護者の声を聞き、PTA組織の改善に反映させてきました。」
- ②連携を密に図るべく、学校、地域、それぞれと対話する機会を増やす
学校、保護者、地域と積極的(もちろんできる範囲内で)にコミュニケーションを図る工夫を凝らしていくことで、それぞれの考えや要望、現状、事情を踏まえた提案に直接触れ、今後のPTAに必要な『残す(引き継いでいく)べきこと』と『変えていく、改善すべきこと』は何かを模索するヒントにできました。

日々活動の中で感じること

- ①「PTA活動を通して得られる楽しさ」
・ボランティア活動の楽しさに触れ、またそこで知り合った仲間が自分自身の人生を豊かにしてくれているので、それを子供にも伝えたい。
・PTA活動の楽しさを伝え、参加したいと気軽に手を挙げられる組織を目指し、活動内容をPRしていきたい。
- ②「地域との連携の重要性」
子どもたちがのびのびと健やかに育っていくために、地域に住む大人の目や手が必要不可欠です。PTAとして、保護者と学校と地域が連携することはとても重要だと感じます。
- ③「PTA運営の難しさ」
『子どもたちのため』という目的は同じでも、保護者の生活環境の違いから、年々、PTAへの考え方や参加への関わり方が変化しています。そのため、ボランティア活動を運営する難しさを感じると同時に、どのような組織がその時代に合ったものなのか、どのような活動が一人でも多くの保護者に参加していただけるものなのかを考えながら日々活動しています。
制度や仕組みを整えて、結果的に保護者の負担を軽減する『スリム化』が、今後益々必要なのではないかと感じています

子どもとの関わりで変化があった点

- ・「学校の日常風景を見る事ができ、子どもとの共通点、話題が増え、より子どもの気持ちを理解することができた。」
- ・「子どもながらに活動を理解してくれ、『自分も』と言う思いからか、委員会やクラスの代表を決めるものに対し積極的に手を挙げてくれるようになった。」
- ・「子ども達がPTA活動を理解し、応援してくれているので、励みになっている。」
- ・「より多くの先生方と知り合い、先生方からアドバイスいただく機会も増え、気持ちに余裕を持って子どもと関われるようになった。」

南第一小学校

PTA理念：保護者と教師が協力して学校、家庭及び社会における児童のすこやかな成長をはかる

活動をする上で工夫していること

- ①保護者が、家庭、仕事の状況などを考慮しながら好きなタイミングで立候補できる
- ②各家庭、児童一名につき委員を一回以上やっていただくようお願いしているが、運営委員会、本部役員をやっていると、他児童分は免除

地域と密接に関わりながら、児童の成長を見守るということを大切に、日々活動しています。

夏休みの「ワクワクスクール」

地域と密接に関わり合いながら、子どもたちのための講座を開催！

子どもたちへ体験学習の機会を提供するため、様々な講座を開催しています。サッカーやテニスなどのスポーツ、工作、バームクーヘンづくりなど、子どもたちが楽しめる企画が盛りだくさん！「地区委員会」をはじめとするたくさんの地域の方々にご協力を頂きながら、毎年実施しています。

力を入れている活動

- ①毎年夏休みに「ワクワクスクール」を開催 ☆
(さまざまな講座を、地域の方々のご協力を得て実施)
- ②近隣の飲食店や保護者から出店者を募り、バザーを開催
(売り上げは、開校150周年記念プロジェクトに充てる)

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「児童や先生方の普段の学校生活の様子が見られること。他学年の先生とも交流が持てたこと。」
- ・「一つ一つの行事を支える先生方の変なさや指導力を身近で感じる事ができたこと。」

工夫したことは？

- ・「仕事をしている保護者が増えてきているため、学校側に、会議の日程を早めに出していただけたようお願いしている。」

子どもとの関わりで変化があった点

- ・「子どもの学校生活が以前よりも見えるようになったので、子どもの話をより親身に聞けるようになった。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「PTA活動をしていて良かったと思うことがたくさんあるにも関わらず、大変なイメージだけが先行してしまい、その良さを知らってもらうのが難しい。」

南第三小学校

子ども達が楽しく学校生活を送れるよう、学校と協力しながら活動しています。

活動をする上で工夫していること

- ①一家庭、年に一度はお助け隊として活動する
- ②役員は任期一年で、みんなが一度は参加するようにする
- ③就労している方が引き受けてくれた際、余分な仕事をなくせるよう前向きなアンケートを実施

活動にあたっては、効率よく活動することを心がけ、個人情報の取り扱いにはとくに注意を払っています

地域の人との関係づくり

学校と地域の架け橋に

さつまいも掘りは、地域の人の畑を借り、事前準備・当日と地域の方々に支えられながら実施しています！

力を入れている活動

- ①地域と協力してさつまいも掘りを実施
- ②学校内でのイベント(運動会、作品展など)
地域の人にも見に来てもらったり、作品展には地域の方の作品を並べて展示しました。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校の様子がわかる。」
- ・「多方面の協力があって、子どもが日々楽しく安全に過ごせているのだと感じることができた。」

工夫したことは？

- ・「負担をなるべく減らすために、役割を分担しなるべく学校に行く日を減らすようにしていました。」

子どもとの関わりで変化があった点

- ・「親が行くと子どもが喜ぶ。」
- ・「親が役員をやっていると、子どももイベントごとをがんばる。喜ぶ。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「子ども、先生のため、必要な活動はあるが、負担が大きい。」
- ・「一定の責任感を持ちながらも、共働きが増えている中、気軽に参加できるような役員づくりをしていきたい。」

鶴川第一小学校

PTA理念：鶴川第一小学校の子どもたちのために
「できるときに できる人が できる事を」をモットーに活動しています。

活動をする上で工夫していること

- ①くじやお休み制度を廃止し、参加が任意のPTA活動の実現
- ②たくさんの委員が「やってみたい」「できそう」と思えるような活動内容の見直し
- ③人数ありきの活動を廃止
(〇名いないといけない、をやめました。
少ない人数でも集まった人数でできる事をします。)
- ④役員の選出は、まずは友達同士の声掛けから
- ⑤PTAは大変な活動ではない、気軽に楽しく参加できるものだという周知を継続して行う

力を入れている活動

地域と協同し「つながり」を大切にしています。

- ①PTAと町内会で通学路の安全を守っています
- ②近隣の小学校と中学校との連携
- ③鶴川地区地域行事

日々活動の中で感じることは？

「『PTAは怖い、
強制的だから関わりたくない』？」

昨今のメディアではそのような意見を多く目にしますが本当にそうでしょうか。町田市の各小学校のPTAではそれぞれが工夫して活動していますが、なかなか悪いイメージはなくなりません。ご自身の小学校のPTAを自分の目で見ていただき、何のためのPTAなのか根本を見つめ考えていただきたいです。

PTA活動をしていてよかったことは？

・「子どもや学校の様子がよくわかるだけでなく、保護者と学校と地域が協力することで互いの立場を理解して考えさせられる、大人の学びの場でもある。」

工夫したことは？

- ・「できる時に、できる人が、できる事をする活動」
- ・「会員の声を聞き、時代に合った活動内容の見直し」
- ・「気軽に楽しく活動できるという周知や声掛け」
- ・「運営委員会の参加を全会員にオープンにし、内容は誌面で伝える」

子どもとの関わりで変化があった点

・「PTA活動で通学路の安全や教育環境が良くなるだけでなく、子ども・保護者・先生・地域の方々が明るくなってより協力的になった。大きな一つの輪でつながったような感じがする。」

ゆくのき学園大戸小学校

未来ある子どもたちの成長を、学校・保護者・地域が一丸となって見守り育んでいます。

活動をする上で工夫していること

- ①学年代表のほかに、スタッフ制度を導入することで保護者全員が活動に参加できるようにしています。
- ②役員会の数日前に、メールを送信するようにしました。忘れてしまって欠席する人が少なくなりました。

力を入れている活動

- ①グラウンドの芝生整備
1家庭につき年1回、先生方と行っています。
- ②学校行事の持久走大会での「豚汁づくり」
保護者役員が豚汁を作り、先生、生徒、保護者と一緒に食べています。
- ③地元のお祭りへの出店

PTA活動をしていてよかったことは？

・「知り合いがたくさんきて、色々な情報が入ってくるようになりました。」
・「先生方とも仲良くなれ、子どもの学校生活を聞くことが出来るので良かったです。」

子どもとの関わりで変化があった点は？

・「学校に行くことが多くなり、子どもは嬉しいようです。」

工夫したことは？

・「自分のできる範囲で、無理をせずに活動しています。」

日々活動の中で感じることは？

・「もっともっとたくさんの方が、役員は大変だという意識を捨て、ハードルを下げて活動に参加してほしいです。」

南第二小学校

「一人ひとりが出来ることを出来るときに」を大切に、活動しています。

活動をする上で工夫していること

- ①できるだけ負担にならないよう役割を分担
お仕事のある方は、土日でも活動できるような
係についてもらっています。

力を入れている活動

- ①放課後子ども教室の開催
地区委員さんにご協力いただき、放課後子ども教室などを開催。
PTAからも、地区委員さんの活動に協力するようにしています。
- ②夏のPTA開放プール

毎年大好評！夏のPTA開放プール

子どもにも保護者にも喜ばれるイベントを開催

水球日本代表を指導されている日体大の先生を講師としてお招きし、毎年実施しています。参加したら泳げるようになった！という子たちがたくさんいて、保護者からも好評です。
最終日には、ご好意で水球選手を呼んでくださり、水球ミニ試合を実施していただけることも。楽しみながら水と触れ合うことができるため、子どもたちも毎年楽しみにしてくれています。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「多学年の保護者と交流できた。」
- ・「学校で子どもたちの様子をみることができた。」

工夫したことは？

・「本部役員の人数を多くすることで、一人ひとりの負担を軽減しています。中には、年に1度のイベントを担当する係も。家庭や仕事の都合で活動を休んだとしても、他の人がいつでもカバーできるような体制にしています。『休んでも大丈夫』と、楽な気持ちで活動に参加できています。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「活動する人、協力的な人は同じ人に限られてしまいがち。」
- ・「いろんな方々に支えられながら、PTA活動をしていると実感します。保護者、先生方、地域の人たちの三者が揃って協力することで、子どもたちが元気にかつ安全に学校に通うことが出来ているのだと、活動を通して日々感じます。」

南第四小学校

できるときにできることをモットーに子どもたちのために、学校、地域と連携して活動しています。

活動をする上で工夫していること

各活動にボランティアを募集することで、仕事の分散化を図るとともに、少しの時間でもPTA活動へ参加できるようにしています。

力を入れている活動

夏休み中の開放プール

開放プールという名称ではありませんが、泳力向上を目的としており、外部の指導員に指導をお願いしています。

日々活動の中で感じることは？

・「『学校での子どもの様子がわかった』『知り合いが増えた』といった良い意見がある一方で、いつも同じような人たちがPTAを担っていることへの不満が少々あります...。」
＜今後の課題＞
3年前に、「PTAは任意団体」という観点から、一人一役を無くし、加入も参加も自由であるという方向へ転身しました。そのため、スタッフの成り手不足に困っている面もあります。いかに加入数を減らさず、参加者を増やしていくかがここ2年の課題となっており、来年度も引き続きいろいろな方法を検討していく予定です。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校に行く機会が増えるため、子どもたちの様子や先生方の一生懸命さが目に見えてよくわかります。」

工夫したことは？

- ・「仕事をしている保護者が多いため、会議の回数を縮減し、必要があればラインで連絡しています。」

子どもとの関わりで変化があった点は？

- ・「子供たちの学校での様子がわかったり、先生や地域の方々と深く関わり合えました。」

匿名校

本部役員内及び他委員会と連携し、スムーズな意見交換をしながら、よりよい活動につながるよう努めています。

活動をする上で工夫していること

- ①役員選出に関して本校では、事前立候補者を募り、選出人数が達した場合は選出会は行いません。その場合は、仕事を休んで学校へ来る必要がありません。
- ②本部役員メンバーとはLINEにて情報共有し、他委員会の活動をみんなで把握できるよう努めています。年7回あった代表委員会も年2回に減らし、他委員会にはなるべく自立した活動を行ってもらいました。

力を入れている活動

地域の方々との旗持ちボランティア

「本校では、地域の方々のご好意で旗持ちボランティア活動をしていただいています。今年度は地域の方々との話し合いを持つことで、自治会の皆様のご協力をさらにいただき、旗持ちボランティア活動をやってくださる方を募りました。本校の学区は2つの地区にまたがっているため、両地区のお祭りには本部役員地区担当者が携わっております。」

PTA活動をしていてよかったことは？

・「PTA活動を通して、色々な方と出会い話をする中で、様々な考え方、捉え方があることを知り、人の立場に立って物事を考えるようになりました。本部役員をやって気付けたことだと思います。」

工夫したことは？

・「本部役員、他委員会で話し合った内容を、他の保護者の方々へ分かりやすく詳しい説明でお伝えできるよう心掛けています。」

子どもとの関わりで変化があった点は？

・「子どもとの関わりに変化はありませんが、親として学校でのこどもの様子が今までよりよくわかるようになりました。」

日々活動の中で感じることは？

・「そもそも保護者同士の中で、役員という縦つながりの関係がPTA役員をやりたくない人たちを増やしていると思います。同じ保護者同士、横つながりで学校と関わることができる、協力し合える形が理想だなと思います。」

3. その他

(1) 配慮が必要なこと

○個人情報の取り扱いについて

⇒個人情報保護法に基づいて、適切に管理する必要があります。

平成29年5月30日に個人情報保護法が改正され、改正前は5000人以下の個人情報を取り扱う事業者は法の対象外とされていましたが、改正後はすべての事業者に個人情報保護法が適用されることとなりました。これに伴い、PTAにおいても、個人情報を取り扱う場合には法に基づいた適切な対応が求められます。

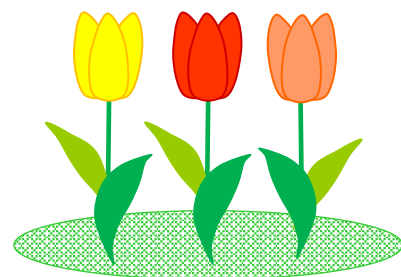
近年、クラス名簿の作成や活用をめぐるトラブルが増えているようです。個人情報の利用目的を明確にする、本人の同意を得ずに第三者に情報を提供しないなど、より慎重な対応が求められるでしょう。

○会員と非会員について

⇒考えられる課題を確認し、事前に対応を話し合っておきましょう。

各事業の実施に当たっては、各会員から会費を集め、運営、行事主催、団体保険等の活動資金に充てています。そのため、以下のような場合に問題が生じる可能性があります。考えられる課題を確認し、事前に対応を話し合っておくことが大切です。

- PTA 発行の広報紙や印刷物を配布する場合
- PTA が費用を負担して行事を実施する場合
- PTA が購入した物品を児童、生徒に贈る場合
- PTA 主催行事で非会員に事故があった場合（保険が適用されないため）など



(2) P T A 連合組織とは

⇒それぞれの学校のP T A（単位P T A）が地域ごとに集まった連合体です
郡市、都道府県・政令指定都市、地域ブロック、全国と組織されています

P T A 連合組織は、単位P T Aの活動の輪を広げ、地域におけるP T A活動を活性化させる大切な役割を担っています。単位P T Aの代表者で構成されており、情報交換会や研修・交流会などを実施することで、単位P T Aでの個々の活動にも役立てられています。

町田市内においては、市立小学校で「町田市公立小学校P T A連絡協議会（略：小P連）」、市立中学校で「町田市立中学校P T A連合会（略：中P連）」が組織され、活動しています。

○活動紹介

P 連として活動してみて良かったこと！



「町田市公立小学校P T A連絡協議会」の皆さんにお伺いしました



①「情報交換会」で様々な人と出会い、視野が広がる

加盟校のほか、教育委員会から教育委員さんや校長会の先生、PTA 担当職員も参加し、子どもたちを取り巻く教育環境をより良くするために、みんなで議論を行っています。保護者と市側で直接意見交換できるため、とても貴重な機会となっています。また、単位 PTA での困りごとにも相談することができ、先駆者が必ずいるので、眼から鱗な情報が手に入り、解決策につながるヒントがたくさん得られます。

②保護者の意見を市に発信していく場が得られる

市の各審議会等へ委員として出席しているため、普段知ることのできない市政情報がたくさん得られるだけでなく、保護者の生の声を伝えることができます。

③町田市への要望書提出を通して、保護者のニーズを伝えていくことができる

単位P T Aでは要望書の提出が難しいため、P連最大の強みとなっています。もちろんすべての要望がそのまま通るというわけではありませんが、実現が難しい要望については理由を丁寧に説明してもらい、代替案を検討してもらったりします。市に保護者側のニーズを知ってもらう大切な機会でもあるため、要望書は毎年提出しています。

④教育委員会からいち早く種々案件の報告をもらえる

学校運営・教育に関する気になっていた情報を、いち早く知ることができます。市側からの希望で新しい事業等の説明に来ることもありますが、要望すれば、気になっている事業の担当職員に「情報交換会」へ出席してもらうこともできます。

－2020 年 3 月発行－

この冊子に関するお問い合わせ

町田市教育委員会

生涯学習部生涯学習総務課 総務係

TEL：042-724-2181